

**平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)**

平成23年10月31日

上場取引所 東大

上場会社名 日本合成化学工業株式会社

 コード番号 4201 URL <http://www.nichigo.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 小笠原 憲一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務人事部長 (氏名) 赤木 淳一

四半期報告書提出予定日 平成23年11月7日

配当支払開始予定日

TEL 06-6440-5300

平成23年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

**1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)**
**(1) 連結経営成績(累計)**

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	44,596	△4.1	3,969	△30.3	3,482	△32.8	1,810	△38.0
23年3月期第2四半期	46,488	3.4	5,690	2.0	5,180	0.5	2,920	△0.9

(注)包括利益 24年3月期第2四半期 2,810百万円 (165.0%) 23年3月期第2四半期 1,060百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	18.59	—
23年3月期第2四半期	29.98	—

**(2) 連結財政状態**

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
24年3月期第2四半期	99,582		57,014		57.3
23年3月期	97,857		54,951		56.2

(参考)自己資本 24年3月期第2四半期 57,011百万円 23年3月期 54,946百万円

**2. 配当の状況**

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	5.00	—	7.00	12.00
24年3月期	—	6.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

**3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)**

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	89,000	△5.3	8,000	△23.8	7,400	△28.8	3,900	△35.0	40.04

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、【添付資料】P.4「2.サマリー情報(その他)に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有な会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	98,369,186 株	23年3月期	98,369,186 株
24年3月期2Q	957,917 株	23年3月期	957,012 株
24年3月期2Q	97,411,286 株	23年3月期2Q	97,413,918 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。  
この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表の四半期レビュー手続は終了しております。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。  
なお、業績予想のご利用にあたっての注意事項については、【添付資料】P.3「1.当四半期の連結業績に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	P.	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	P.	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	P.	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	P.	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	P.	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	P.	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	P.	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	P.	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	P.	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	P.	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	P.	7
四半期連結損益計算書 .....	P.	7
四半期連結包括利益計算書 .....	P.	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	P.	9
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	P.	11
(5) セグメント情報等 .....	P.	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	P.	12
4. 補足情報 .....	P.	12
(1) 所在地別セグメント情報(参考) .....	P.	12
(2) 海外売上高(参考) .....	P.	13
* 当社は以下の通り機関投資家・アナリスト向け決算説明会を開催する予定です。		
この説明会で配布した資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。		
・平成23年11月17日(木)・・機関投資家・アナリスト向け上半期決算説明会		

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日）におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による制約から生産面においては脱しつつあり、景況感は回復基調にあります。しかし、外需については、過去最高水準の円高の影響、欧州債務危機、米国経済の鈍化、中国をはじめとする新興国のインフレ抑制策などを背景に減速基調で推移しました。特に大型液晶テレビ市場では、需要の一服感が長引き、回復基調には至りませんでした。

このような状況のもと当社グループは、当期からスタートした新中期経営計画「Double 15（ダブルフィフティーン）」（2011年度～2015年度）に掲げた目標を達成するためのコア事業の積極的拡大、第三の柱構築の加速などに鋭意取り組んでおります。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は前年同期に比べ18億9千2百万円減少し、445億9千6百万円（前年同期比4.1%減）となりました。営業利益は前年同期に比べ17億2千1百万円減少し、39億6千9百万円（同30.3%減）となりました。経常利益は前年同期に比べ16億9千7百万円減少し、34億8千2百万円（同32.8%減）となり、四半期純利益は特別損失に投資有価証券評価損を計上したこともあり、前年同期に比べ11億9百万円減少し、18億1千万円（同38.0%減）となりました。

### 報告セグメント

#### <合成樹脂>

PVOH樹脂「ゴーセノール」では、スペシャリティ分野を中心に堅調に推移しましたが、汎用品分野の輸出数量の減少および円高の影響もあり、売上高は前年同期並みとなりました。また、二次加工分野の機能フィルムでは、光学用途の「OPLフィルム」が7月以降液晶パネルの在庫調整により顧客の引き合いに勢いがなく、売上高は前年同期に比べ減少しました。

EVOH樹脂「ソアノール」では、海外子会社の円高による為替換算差はありましたが、食品包装用途を中心に欧米の需要は堅調に推移し、また中国をはじめとするアジア地域においても伸長した結果、売上高は前年同期並みとなりました。

粘・接着樹脂および機能性コーティング樹脂を中核とするスペシャリティポリマーでは、光学・電子材料分野等での需要減もあり、売上高は前年同期に比べ減少しました。

以上の結果、合成樹脂の売上高は315億5千万円（前年同期比5.0%減）となりました。セグメント利益（営業利益）につきましては、在庫受払差等によるプラス要因はありましたが、「OPLフィルム」の販売数量減、原燃料価格の上昇に伴う変動費の増加、および円高による為替差等のマイナス要因が大きくなり、前年同期に比べ16億8千7百万円減少し、39億9千1百万円（同29.7%減）となりました。

#### <有機合成>

酢酸、酢酸ビニルモノマー等の工業薬品および酢酸誘導体等のファインケミカル製品等を中核とする有機合成では、売上高は販売数量の減少により前年同期に比べ4億円減少し、111億7千9百万円（前年同期比3.5%減）となりました。セグメント利益（営業利益）につきましては、原燃料価格の高騰はありましたが、適正な売買価格スプレッドの確保に努めた結果、前年同期に比べ2千7百万円増加し、5千5百万円（同98.6%増）となりました。

報告セグメントの売上高は427億2千9百万円（前年同期比4.6%減）となり、セグメント利益（営業利益）は40億4千7百万円（同29.1%減）となりました。

#### <その他>

設備工事、環境分析、物流サービス事業等を主体とするその他の売上高は18億6千6百万円（前年同期比10.8%増）となり、セグメント利益（営業利益）は1億4千万円（同40.2%増）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は995億8千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ17億2千4百万円増加しました。流動資産は495億7千万円となり、前連結会計年度末に比べ8億7千1百万円増加しました。主な要因は、流動資産その他の増加(2,417百万円)、商品及び製品の増加(1,937百万円)、現金及び預金の減少(4,006百万円)等です。固定資産は500億1千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億5千3百万円増加しました。主な要因は、有形固定資産の増加(1,647百万円)、投資その他の資産の減少(662百万円)等です。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は425億6千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億3千9百万円減少しました。流動負債は262億8千万円となり、前連結会計年度末に比べ2億7千6百万円増加しました。主な要因は、支払手形及び買掛金の増加(1,486百万円)、流動負債その他の増加(1,176百万円)、短期借入金の減少(905百万円)、未払法人税等の減少(891百万円)、修繕引当金の減少(537百万円)等によるものです。固定負債は162億8千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億1千5百万円減少しました。主な要因は、長期借入金の減少(767百万円)等によるものです。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は570億1千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ20億6千3百万円増加しました。主な要因は、四半期純利益(1,810百万円)の計上による増加、為替換算調整勘定の増加(993百万円)、配当金の支払(681百万円)による減少等によるものです。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の56.2%から57.3%になりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末より17億9千7百万円減少し、62億7百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と主な内容は次のとおりです。

## ＜営業活動によるキャッシュ・フロー＞

税金等調整前四半期純利益26億6千3百万円、減価償却費32億5千9百万円、仕入債務の増加13億8千5百万円などの資金増加要因に対し、たな卸資産の増加22億2千万円、法人税等の支払額16億7千5百万円などの資金減少要因により、営業活動によるキャッシュ・フローは40億2千7百万円の収入となりました。前年同期比では収入が30億6千2百万円減少しました。

## ＜投資活動によるキャッシュ・フロー＞

固定資産の取得による支出32億2千5百万円等により、投資活動によるキャッシュ・フローは31億8千万円の支出となりました。前年同期比では支出が8億9千4百万円増加しました。

## ＜財務活動によるキャッシュ・フロー＞

借入金返済による支出20億9百万円、配当金の支払6億8千1百万円等により、財務活動によるキャッシュ・フローは26億9千6百万円の支出となりました。前年同期比では支出が42億6千7百万円減少しました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の当社グループを取り巻く事業環境は、国内外経済の下振れリスク、原燃料価格の上昇、円高による外需収益の圧迫など先行きの不透明感が懸念されます。当社グループとしては、これらの状況を踏まえ、スペシャリティ化の推進および適正な売買価格スプレッドの確保やコスト削減の推進による収益力の強化を図ってまいります。

なお、平成23年10月21日付で公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり、平成24年3月期(平成23年4月1日～平成24年3月31日)の通期の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては同資料をご覧ください。

業績予想は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

## 2. サマリー情報(その他)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### 原価差異の繰延処理

一部の連結子会社において、操業度等の季節的な変動に起因して発生した原価差異につきましては、原価計算期間末までに解消が見込まれるため、当該原価差異を繰延べております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,036	4,029
受取手形及び売掛金	22,897	23,195
商品及び製品	12,296	14,234
仕掛品	370	422
原材料及び貯蔵品	3,008	3,132
その他	2,171	4,588
貸倒引当金	△80	△32
流動資産合計	48,699	49,570
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,426	9,440
機械装置及び運搬具(純額)	22,375	22,780
土地	4,332	4,328
建設仮勘定	3,778	4,982
その他(純額)	1,481	1,510
有形固定資産合計	41,394	43,042
無形固定資産		
のれん	416	317
その他	422	390
無形固定資産合計	839	707
投資その他の資産		
その他	7,155	6,531
貸倒引当金	△231	△270
投資その他の資産合計	6,923	6,260
固定資産合計	49,157	50,011
資産合計	97,857	99,582

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,673	15,160
短期借入金	3,954	3,049
未払法人税等	1,504	613
役員賞与引当金	71	—
賞与引当金	1,165	1,185
修繕引当金	713	176
その他	4,920	6,096
流動負債合計	26,003	26,280
固定負債		
長期借入金	9,613	8,845
退職給付引当金	5,477	5,524
役員退職慰労引当金	68	72
その他	1,742	1,844
固定負債合計	16,902	16,286
負債合計	42,906	42,567
純資産の部		
株主資本		
資本金	17,989	17,989
資本剰余金	13,879	13,879
利益剰余金	25,692	26,821
自己株式	△194	△194
株主資本合計	57,367	58,496
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	150	104
繰延ヘッジ損益	△5	△17
為替換算調整勘定	△2,565	△1,572
その他の包括利益累計額合計	△2,420	△1,485
少数株主持分	4	3
純資産合計	54,951	57,014
負債純資産合計	97,857	99,582

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	46,488	44,596
売上原価	33,925	33,638
売上総利益	12,562	10,957
販売費及び一般管理費	6,871	6,988
営業利益	5,690	3,969
営業外収益		
受取利息	14	13
受取配当金	56	53
持分法による投資利益	40	20
受取賃貸料	61	62
その他	64	48
営業外収益合計	238	197
営業外費用		
支払利息	252	133
為替差損	431	507
その他	64	43
営業外費用合計	748	684
経常利益	5,180	3,482
特別利益		
その他	1	0
特別利益合計	1	0
特別損失		
固定資産処分損	164	197
投資有価証券評価損	546	603
ゴルフ会員権評価損	—	13
その他	4	5
特別損失合計	715	819
税金等調整前四半期純利益	4,466	2,663
法人税、住民税及び事業税	1,669	861
法人税等調整額	△301	△73
法人税等合計	1,367	788
少数株主損益調整前四半期純利益	3,098	1,874
少数株主利益	177	64
四半期純利益	2,920	1,810

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,098	1,874
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△167	△45
繰延ヘッジ損益	0	△12
為替換算調整勘定	△1,870	993
その他の包括利益合計	△2,037	935
四半期包括利益	1,060	2,810
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	882	2,746
少数株主に係る四半期包括利益	177	64

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	4,466	2,663
減価償却費	3,252	3,259
のれん償却額	90	95
貸倒引当金の増減額(△は減少)	12	△7
賞与引当金の増減額(△は減少)	5	19
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△133	46
為替差損益(△は益)	213	269
受取利息及び受取配当金	△71	△66
支払利息	252	133
持分法による投資損益(△は益)	△40	△20
固定資産処分損益(△は益)	164	197
投資有価証券評価損益(△は益)	546	603
売上債権の増減額(△は増加)	2,030	△193
たな卸資産の増減額(△は増加)	245	△2,220
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,810	1,385
その他債権債務の増減額	64	358
その他	△345	△752
<b>小計</b>	<b>8,944</b>	<b>5,771</b>
利息及び配当金の受取額	71	66
利息の支払額	△257	△135
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△1,668	△1,675
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>7,089</b>	<b>4,027</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△2,174	△3,225
有形固定資産の売却による収入	4	0
投資有価証券の取得による支出	△1	△5
貸付けによる支出	△4	△6
貸付金の回収による収入	23	39
その他投資資産の売却による収入	10	32
長期前払費用の取得による支出	△18	△32
差入保証金の回収による収入	2	138
その他	△129	△122
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△2,286</b>	<b>△3,180</b>

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	40
短期借入金の返済による支出	△685	△960
長期借入金の返済による支出	△5,589	△1,048
配当金の支払額	△584	△681
少数株主への配当金の支払額	△97	△39
自己株式の取得による支出	△1	△0
その他	△4	△4
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,963	△2,696
現金及び現金同等物に係る換算差額	△214	51
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,374	△1,797
現金及び現金同等物の期首残高	11,807	8,005
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,433	6,207

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

## ①報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日) (単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	合成樹脂	有機合成	計				
売上高							
外部顧客への売上高	33,223	11,579	44,803	1,684	46,488	—	46,488
セグメント間の内部売上高 又は振替高	393	816	1,210	1,676	2,887	△2,887	—
計	33,617	12,396	46,014	3,361	49,375	△2,887	46,488
セグメント利益	5,679	27	5,707	100	5,807	△116	5,690

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、設備工事、保守、環境分析および物流サービス事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△116百万円には、セグメント間取引消去△7百万円、各報告セグメントに配分していない全社共通費用△109百万円が含まれております。全社共通費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費および研究開発費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日) (単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	合成樹脂	有機合成	計				
売上高							
外部顧客への売上高	31,550	11,179	42,729	1,866	44,596	—	44,596
セグメント間の内部売上高 又は振替高	483	911	1,394	1,808	3,203	△3,203	—
計	32,033	12,090	44,124	3,675	47,799	△3,203	44,596
セグメント利益	3,991	55	4,047	140	4,187	△218	3,969

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、設備工事、保守、環境分析および物流サービス事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△218百万円には、セグメント間取引消去△38百万円、各報告セグメントに配分していない全社共通費用△179百万円が含まれております。全社共通費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費および研究開発費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## ②報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれんの発生益)

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

#### 4. 補足情報

(1) 所在地別セグメント情報(参考)

前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日) (単位:百万円)

	日本	北米	欧州	計	消去又は全社	連結
売上高						
外部顧客に対する売上高	36,166	5,057	5,264	46,488	—	46,488
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,514	59	62	1,635	(1,635)	—
計	37,680	5,117	5,326	48,124	(1,635)	46,488
営業利益	4,072	786	808	5,666	23	5,690

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日) (単位:百万円)

	日本	北米	欧州	計	消去又は全社	連結
売上高						
外部顧客に対する売上高	34,355	4,500	5,740	44,596	—	44,596
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,730	355	298	2,384	(2,384)	—
計	36,085	4,855	6,039	46,980	(2,384)	44,596
営業利益	1,972	970	1,060	4,003	△34	3,969

(注) 国又は地域の区分の方法及び各区分に属する主な国又は地域

(1) 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

(2) 各区分に属する主な国又は地域

日本……中国、タイを含む

北米……アメリカ

欧州……ドイツ、イギリス

所在地別セグメントの業績は次のとおりです。

<日本>

日本における売上高は、PVOH樹脂の二次加工分野である光学用途の「OPLフィルム」が7月以降における液晶パネルの在庫調整により減少したこと、粘・接着樹脂および機能性コーティング樹脂を中核とするスペシャリティポリマーの光学・電子材料分野での需要減、ならびに円高による為替差もあり、前年同期に比べ18億1千万円減少し、343億5千5百万円となりました。

<北米>

北米における売上高は、米国連結子会社の「ソアノール」販売が食品用途を中心に堅調に推移しましたが、円高による為替換算差の影響等により、前年同期に比べ5億5千7百万円減少し、45億円となりました。

## ＜欧州＞

欧州における売上高は、円高による為替換算差の影響はありましたが、英国連結子会社の「ソアノール」販売が食品用途を中心に堅調に推移したこと等により、前年同期に比べ4億7千5百万円増加し、57億4千万円となりました。

## (2) 海外売上高 (参考)

前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日) (単位:百万円)

	北米	アジア	欧州	その他の地域	計
I 海外売上高	5,550	9,482	6,016	396	21,447
II 連結売上高	—	—	—	—	46,488
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	11.9	20.4	12.9	0.8	46.1

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日) (単位:百万円)

	北米・南米	アジア	欧州	その他の地域	計
I 海外売上高	4,961	8,766	6,295	449	20,472
II 連結売上高	—	—	—	—	44,596
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	11.1	19.7	14.1	1.0	45.9

(注) 国又は地域の区分の方法及び各区分に属する主な国又は地域

(1) 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

(2) 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

北米……………アメリカ、カナダ

南米……………ブラジル

アジア……………中国、韓国、台湾、東南アジア

欧州……………ドイツ、イギリス